

今日は、湘南白百合学園小学校の6年生の城ヶ島巡検（地層見学会）に同行し、引率補助と解説役をしてきました。城ヶ島の南側の海岸には、玄武岩、凝灰岩などの地層の露頭が多く存在します。黒い玄武岩質の岩石と白い凝灰岩質の岩石がコントラストのはっきりした「互層」を形成し、珍しい「火焰状構造」「スランプ構造」「クロスラミナ（斜交葉理）」「生痕化石」「スコリア層」なども見られます。地層全体にも長い年月の間に地殻変動が加わって、「傾斜地層」「褶曲（背斜／向斜）」「水平断層」「逆断層」なども随所に見られ、まさに「地質のデパート」のような場所です。東京や神奈川の小学校6年生の巡検（地層見学会）にはぴったりの場所なのです。

中でもこの写真の逆断層は、小規模ながら、誰が見ても逆断層とわかる明瞭な構造がよく保存されています。「火焰状構造（一番白い層）」も断層によってカットされています。実はこの1週間前に、この小学校の理科室で「白小麦粉と色付き小麦粉を使った逆断層の疑似実験」を行ったのですが、その実験結果とそっくりの実物を見ることができ、子どもたちも歓声をあげていました。遠くに富士山や伊豆大島が見えるほどよく晴れた日でしたが、海岸の風は涼しく、大変楽しい一日でした。

(2024年10月中旬／神奈川県三崎市城ヶ島)

